

ID: I1819

助成受給団体名	しわちくちいきあんぜんすいしんきょうぎかい 紫波地区地域安全推進協議会
事業の名称	安全・安心まちづくりフォーラム みんなでつくろう安心の街
実施期間	2018年8月1日～2019年3月31日
<p>実施した事業の内容</p> <p>1 フォーラムの内容</p> <p>(1) 会場:矢巾町文化会館 田園ホール(収容800名)</p> <p>(2) 参加者:講師1名、県警音楽隊30名、企業、ボランティア12名、スタッフ他14名 地域安全マップ受賞者30名、佐比内金山太鼓10名、氷上太鼓10名、 煙山小学校吹奏楽70名、入場者約500名</p> <p>(3) オープニング 煙山小学校吹奏楽70名による「ミニコンサート」</p> <p>(4) 基調講演 命てんでんこ～日々の訓練による「釜石の奇跡」 講師 元釜石東中学校副校長 村上洋子 さま</p> <p>(5) アトラクション 被災地から 氷上共鳴会 氷上太鼓、地元から佐比内金山太鼓の演奏</p> <p>2 子どもを守る地域安全マップコンクール表彰式の実施</p> <p>(1) 4団体から8枚のマップの応募があった。</p> <p>(2) 有識者など審査のうえ最優秀賞含め4点を表彰した。</p> <p>(3) マップ8枚を会場のホワイエに展示し、ラミネート加工したマップを副賞とした。 ※マップ8枚を全国防災マップコンクールに出展し、うち1点が審査員特別賞を受賞した。</p> <p>3 地域安全アンケートの実施</p> <p>今後の活動の参考とするためフォーラムへの意見及び安全な暮らしについてのアンケートを実施した。</p> <p>(1) 回収枚数145枚</p> <p>(2) アンケートのまとめ(別添のとおり)</p>	
<p>事業の成果</p> <p>①東日本大震災の津波から難を逃れた避難行動を通して防災教育や地域のコミュニケーションの必要性など改めて認識する良い機会となった。</p> <p>②多くの人がこのような機会を待ち望み継続して欲しいと希望している。(参加者アンケートにより把握)</p> <p>③企業や防犯ボランティアがスタッフとして参加。他地区の人達と一緒に活動する事で、良好な人間関係が保たれた。</p> <p>④フォーラムに地域安全マップの受賞式を組み込むことで子どもから大人まで一生懸命取り組んでいる姿を見せることが出来た。そして全国防災マップコンクールで審査員特別賞を受賞し励みとなった。</p> <p>⑤コミュニケーション不足の地域の絆を深めるためのフォーラムにたくさんの方が集まり、みんなの心が一つになったことから、地域の絆を深めることができた。</p> <p>⑥プログラムの裏表紙に地域安全活動を掲載することにより、一度に多くの方に安全・安心な街づくりについて意識を深めることができた。</p>	
<p>今後の課題</p> <p>①継続して開催したい意義ある事業であるが、今後どのようにして予算確保するかが課題である。</p> <p>②フォーラムにおいてマップ発表の場を設け危険箇所の確認と子ども自身の危険回避能力の向上、さらに地域の安全な環境づくりへの関心を高めることが必要である。</p>	

